

(個人)

(報告 田 中)

山(山域・ルート) **金精山、温泉ヶ岳**(ゆせんがたけ)

【日時】23年 8月24日(水)

【メンバー】

田中 正行 (計 1 名)

【行動記録】

自宅6時16分発—東松山I. C—  
沼田I. C—菅沼登山口(9:17)—  
金精峠(10:12)—金精山(11:  
00—11:30)—金精峠(12:  
03)—温泉ヶ岳(12:56)—金  
精峠(13:51)—登山口(14:  
34)

歩行時間 4時間30分

【装備・食料等】

携帯電話、ヘッドランプ、雨具、コンパス、地図、救急薬、ツエルト

水(2.0リットル)、食事(昼食)、行動食

【感想】

群馬の山に行くことが多いので、いつしか群馬百名山をめざすようになっていま  
した。この日の2座を含めると86座になります。山に囲まれた県とはいえ、一県  
で100を選ぶとなると、名山と呼ぶには疑問を感じる山もあります。確かに地域  
で親しまれている山も対象になっているので、遠方の人間にはわからない点もあり  
ます。今回もあまり期待はしていませんでした。しかし、金精峠に着いてみると、  
その景色のすばらしさに、思わず感動！目の前に男体山から女峰に続く日光連山が  
一望でき、その下に湯ノ湖が緑の中に浮かんでいる。右手に金精山の鋭鋒が青空に  
聳え、左には一部が崩れ、山肌がむき出しになった温泉ヶ岳が大きく構えている。  
初めに、金精山に向かう。途中、樹林越しにコバルトブルーの菅沼がきれいだ。石  
楠花も登山道に沿って多くあるので、春も楽しむことができそう。はしごやロープ  
の急斜面の道も変化に富んでおもしろい。山頂に着くと、4人のグループが昼食を  
楽しんでいた。日高市周辺の中高年の男女で、話も弾み、きゅうりや枝豆他のおつ  
まみをたくさんご馳走になった後、グループに別れを告げ、温泉ヶ岳に向かった。

① 金精山(標高2,244m)

② 温泉ヶ岳(2,333m)

